

令和7年度千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修の受講者募集について

このことについて、別添「実施要領」のとおり実施しますので、受講を希望される場合は、別添の研修課程別の受講申込書(様式2-1~4)に必要事項を記入の上、一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会宛てにメールでご提出ください。

(申込方法は、下記の2を御参照ください。)

なお、課程ごとの申込人数は2名までとします。(2名申し込まれる場合は、受講申込書の優先順位1・2にご留意ください。)

記

1 研修課程別の実施日・申込期間等

(1) 基礎課程 (定員：1回につき60名、2日間/年4回実施)

区分	実施日	申込期間	受講決定通知 ※
第1次	令和7年9月25日(木) 29日(月)	令和7年 8月20日 ~9月3日	令和7年9月12日 頃
第2次	令和7年11月18日(火) 20日(木)		
第3次	令和8年1月16日(金) 22日(木)		
第4次	令和8年3月4日(水) 11日(水)		

(2) 専門課程 (定員：1回につき60名、2日間/年3回実施)

区分	実施日	申込期間	受講決定通知 ※
第1次	令和7年10月21日(火) 29日(水)	令和7年 9月8日 ~9月22日	令和7年10月3日 頃
第2次	令和7年12月3日(水) 18日(木)		
第3次	令和8年2月3日(火) 18日(水)		

(3) 指導者養成課程 (定員：1回につき60名、2日間/年2回実施)

区分	実施日	申込期間	受講決定通知 ※
第1次	令和7年11月26日(水) 28日(金)	令和7年 10月14日 ~10月28日	令和7年11月7日 頃
第2次	令和8年2月17日(火) 20日(金)		

(4) 管理者課程 (定員：1回につき60名、1日間/年2回実施)

区分	実施日	申込期間	受講決定通知 ※
第1次	令和7年11月13日(木)	令和7年 9月22日 ~10月6日	令和7年10月17日 頃
第2次	令和7年12月19日(金)		

※ 受講決定通知は、受講申込書の「連絡用メールアドレス」へ送信します。

2 申込方法

研修課程別の「受講申込書」をメールにより、一般社団法人 千葉県高齢者福祉施設協会 宛てに提出願います。

なお、申込期間前や申込期間を過ぎた提出は、受付を行いませんので、上記1に記載された申込期間を厳守願います。

- (1) メール ☞ 件名を「〇〇課程の受講申込について」とし、受講申込書（エクセルシート）を添付して、以下のアドレスへ送信してください。（PDFにしないこと。手書きは不可）

研修課程	送信先アドレス
(1) 基礎課程	kensyu1@theia.ocn.ne.jp
(4) 管理者課程	(ケンシュウイチ)
(2) 専門課程	hokensyu@theia.ocn.ne.jp
(3) 指導者養成課程	

3 研修受講対象者

- (1) 基礎課程は、概ね就業3年未満の職員が対象です。
(2) 専門課程は、基礎課程の修了者又は主任等の指導的な立場にある方が対象です。
(3) 指導者養成課程は、専門課程の修了者又は専門課程修了者と同等と認められる方が対象です。
(4) 管理者課程は、介護施設等の経営者、管理者、事務長及び生活相談員等施設の運営に携わる方が対象です。

4 受講料

受講料は、各課程とも、お一人1,000円です。研修初日に会場の受付でお支払いください。

【申込先】 一般社団法人 千葉県高齢者福祉施設協会
担当：笹口

住 所 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-5
千葉県社会福祉センター4階

TEL 043-244-6151

FAX 043-244-6022

令和7年度

千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止推進事業実施要領

この要領は、千葉県が実施する高齢者権利擁護・身体拘束廃止推進事業を効果的に実施するために、必要事項を定めるものとする。

1 事業内容

- (1) 高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修 基礎課程の実施
- (2) 高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修 専門課程の実施
- (3) 高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修 指導者養成課程の実施
- (4) 高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修 管理者課程の実施

2 事業の目的

- (1) 高齢者介護に従事する新任職員（概ね就業3年未満の職員を対象）に基礎的研修を行うことにより、
 - ① 高齢者権利擁護の理念を再確認し、利用者中心の介護の意義を学ぶ。
 - ② 身体拘束が及ぼす影響を理解し、さらに高齢者の心理・行動への知識を深め、個別性に視点を置いた、身体拘束をしない介護をめざす。
- (2) 高齢者介護の指導的立場にある者に対して、専門的研修を行うことにより、
 - ① 専門知識と実践技術を習得し、リーダーとして率先して身体拘束をしない介護の実現に取り組む。
 - ② 職場内において身体拘束廃止を推進していく人材を育てることにより、施設全体で取り組む体制を確立し、個別ケアの向上の充実につなげる。
- (3) 千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修の専門課程修了者等を対象に、指導者の養成研修を行うことにより、
 - ① 指導者として求められる役割と育成技術を習得することにより、職場における身体拘束廃止の指導者としての自覚を養う。
 - ② 職員の高齢者権利擁護・身体拘束廃止に向けた取組を実践的に指導するための資質の向上を図る。
- (4) 高齢者施設の経営を担う立場にあるものとして、
 - ① 法人運営の責任者として、権利擁護の理念を十分理解し、身体拘束廃止を推進する人材を指導・育成するとともに、介護の質の向上に取り組む管理者の意識の向上をめざす。

以上のことをもって、高齢者介護の充実を図ることを目的とする。

3 事業実施団体及び実施責任者

<研修実施団体> 一般社団法人 千葉県高齢者福祉施設協会

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-5 千葉県社会福祉センター内
電話 043-244-6151

<研修実施責任者> 会長 井上 峰夫

4 研修内容

(1) 基礎課程研修……………講義・演習10時間（5時間×2日間）

【実施カリキュラム】

- ア. 高齢者権利擁護に関する基本理念
- イ. 身体拘束に関する基本的知識
- ウ. 行政説明
- エ. 虐待防止について
- オ. 記録のポイント

(2) 専門課程研修……………講義・演習10時間（5時間×2日間）

【実施カリキュラム】

- ア. 知る手段としてのアセスメント ～ケアマネージャーからの視点～
- イ. リスクマネジメント
- ウ. 身体拘束廃止に向けた専門的理解と実践紹介
- エ. 身体拘束がもたらす弊害 ～リハビリテーションの視点から～
- オ. チームアプローチとリーダーシップ
- カ. 事例実践検討・演習

(3) 指導者養成課程研修……………講義・演習10時間（5時間×2日間）

【実施カリキュラム】

- ア. 高齢者権利擁護及び虐待防止の基礎
- イ. 事例検討① 研修の進め方
- ウ. 事例検討② グループ討議
- エ. ハラスメントについて
- オ. 事例検討① ハラスメント対策
- カ. 事例検討② グループ討議
- キ. 2日間のまとめ

(4) 管理者課程研修……………講義3時間50分（1日間）

【実施カリキュラム】

- ア. 行政説明
- イ. 管理職としての高齢者権利擁護

※ 『事前課題』と『1日の振り返り』の提出について

基礎課程及び専門課程の受講者は、研修初日の受付の時に『事前課題』を提出する。また全ての受講者は、研修日の最後に『1日の振り返り』を提出する。（用紙については、『事前課題』は受講決定時に、『1日の振り返り』は研修当日に配布する。）

(5) 研修受講対象者

受講対象者は次の者とする。

- ◇基礎課程……………介護施設等に従事する者。ただし介護等の実務経験が3年未満の者を優先とする。
- ◇専門課程……………基礎課程を修了した者又は主任等の指導的な立場にある者
- ◇指導者養成課程…専門課程を修了した者又は専門課程の修了者と同等と認められる者
- ◇管理者課程……………介護施設等の経営者、管理者、事務長及び生活相談員等施設の運営に携わる者

※ 同一年度内に、二つ以上の課程の研修を受講することはできない。

(6) 研修実施回数・実施日と受講者数

◇基礎課程……………定員：1次数につき60名（2日間／年4回実施）

- 実施日：第1次 令和7年 9月25日（木）・29日（月）
- 第2次 令和7年11月18日（火）・20日（木）
- 第3次 令和8年 1月16日（金）・22日（木）
- 第4次 令和8年 3月 4日（水）・11日（水）

◇専門課程……………定員：1次数につき60名（2日間／年3回実施）

- 実施日：第1次 令和7年10月21日（火）・29日（水）
- 第2次 令和7年12月 3日（水）、18日（木）
- 第3次 令和8年 2月 3日（火）・18日（水）

◇指導者養成課程・・・定員：1 次数につき 60 名（2 日間／年 2 回実施）
実施日：第 1 次 令和 7 年 11 月 26 日（水）、11 月 28 日（金）
第 2 次 令和 8 年 2 月 17 日（火）・20 日（金）

◇管理者課程・・・・・・・定員：1 次数につき 60 名（1 日間／年 2 回実施）
実施日：第 1 次 令和 7 年 11 月 13 日（木）
第 2 次 令和 7 年 12 月 19 日（金）

(7) 会 場

◇基礎課程・専門課程（各次数の 1 日目）、及び指導者養成課程、管理者課程
☞ 千葉県経営者会館 千葉市中央区千葉港 4-3 TEL. 043-246-1158)

◇基礎課程・専門課程（各次数の 2 日目）
☞ ホテルポートプラザちば 千葉市中央区千葉港 8-5 TEL. 043-247-7211)

(8) 研修受講者の心得

受講者は、高齢者介護に携わる者として、研修の目的を理解するとともに、
身体拘束廃止に向けた知識と介護技術の修得に努める。

(9) 研修修了の認定

研修実施団体は研修の結果を千葉県に報告し、これに基づき千葉県は修了証
書を受講者に交付する。

(10) 受講者の費用負担

【受講料】 受講料として、全課程で 1 人あたり 1,000 円を徴収する。

5 関係機関との連携

この事業を実施するにあたり、関係する機関との連絡・連携を十分に行うなど、
事業の目的の達成のため社会資源を有効に活用する。

6 その他の事項について

その他、この研修の実施にあたって必要な事項は、千葉県と協議のうえ実施する。

基礎課程 研修プログラム（第1次）

[研修会場]

- ①9/25(木) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:407号室
 ②9/29(月) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港 8-5) 会場:2F ルビー

- ※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。
 ※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。
 ※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 7 年 9 月 25 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	高齢者権利擁護に関する基本理念	権利擁護の理念、介護の基本的考え方・関わり方を学ぶ)	服部メディカル研究所 所長 服部 万里子 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	身体拘束に関する基本的知識	身体拘束の弊害について知る	拘束廃止研究所 所長 田中 とも江 氏	
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 7 年 9 月 29 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~10:30	行政説明		千葉県職員	
		10:30~12:00	虐待防止について	虐待防止に関する基礎的知識を習得する	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	記録のポイント(グループ討議)	記録のあり方を考える 所属施設において活用できる記録のポイントを 知る	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	

基礎課程 研修プログラム（第2次）

[研修会場]

①11/18(火) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:407 号室

②11/20(木) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港 8-5) 会場:2F ルビー

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 7 年 11 月 18 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	高齢者権利擁護に関する基本理念	権利擁護の理念、介護の基本的考え方・関わり方を学ぶ)	服部メディカル研究所 所長 服部 万里子 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	身体拘束に関する基本的知識	身体拘束の弊害について知る	拘束廃止研究所 所長 田中 とも江 氏	
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 7 年 11 月 20 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~10:30	行政説明		千葉県職員	
		10:30~12:00	虐待防止について	虐待防止に関する基礎的知識を習得する	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	記録のポイント(グループ討議)	記録のあり方を考える 所属施設において活用できる記録のポイントを知る	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

基礎課程 研修プログラム（第3次）

[研修会場]

- ①1/16(金) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:407号室
 ②1/22(木) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港 8-5) 会場:2F ルビー

- ※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。
 ※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。
 ※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令和 8 年 1 月 16 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	高齢者権利擁護に関する基本理念	権利擁護の理念、介護の基本的考え方・関わり方を学ぶ)	服部メディカル研究所 所長 服部 万里子 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	身体拘束に関する基本的知識	身体拘束の弊害について知る	拘束廃止研究所 所長 田中 とも江 氏	
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令和 8 年 1 月 22 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~10:30	行政説明		千葉県職員	
		10:30~12:00	虐待防止について	虐待防止に関する基礎的知識を習得する	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	記録のポイント(グループ討議)	記録のあり方を考える 所属施設において活用できる記録のポイントを知る	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

基礎課程 研修プログラム（第4次）

【研修会場】

- ①3/4(水) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港4-3) 会場:407号室
 ②3/11(水) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港8-5) 会場:2Fルビー

- ※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。
 ※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。
 ※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 8 年 3 月 4 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	高齢者権利擁護に関する基本理念	権利擁護の理念、介護の基本的考え方・関わり方を学ぶ)	服部メディカル研究所 所長 服部 万里子 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	身体拘束に関する基本的知識	身体拘束の弊害について知る	拘束廃止研究所 所長 田中 とも江 氏	
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 8 年 3 月 11 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~10:30	行政説明		千葉県職員	
		10:30~12:00	虐待防止について	虐待防止に関する基礎的知識を習得する	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:10	記録のポイント(グループ討議)	記録のあり方を考える 所属施設において活用できる記録のポイントを 知る	特養 プレーグ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

専門課程 研修プログラム（第1次）

[研修会場]

①10/21(火) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:207 号室

②10/29(水) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港 8-5) 会場:2F ルビー

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 7 年 10 月 21 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	知る手段としてのアセスメント ～ケアマネージャーからの視点～	アセスメントシートについて知る	中核地域生活支援センター さんネット コーディネーター 泉 洋治 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~14:00	リスクマネジメント	介護の視点からリスクマネジメントを学ぶ	社会福祉法人 六親会 理事長 湯川 智美 氏	
		14:10~16:10	身体拘束廃止に向けた専門的理解と 実践紹介	身体拘束をなくす取り組みを、実践例をとおして 深める		
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 7 年 10 月 29 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~12:00	身体拘束がもたらす弊害 ～リハビリテーションの視点から～	リハビリテーションの視点から身体拘束廃止に ついての専門的理解を深める	千葉県千葉リハビリテーション センター 地域支援センター長 田中 康之 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~14:30	チームアプローチとリーダーシップ	介護を行うためのチームのあり方、リーダーの役 割について考える	あざみ野ヒルトップ 代表 松下 明美 氏	
		14:40~16:10	事例実践検討・演習	事例をとおして、身体拘束廃止に向けた組み 組みを学ぶ		
16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

専門課程 研修プログラム（第2次）

[研修会場]

①12/ 3(水) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:403 号室

②12/18(木) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港 8-5) 会場:2F ルビー

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 7 年 12 月 3 日	9:30~ 9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	知る手段としてのアセスメント ～ケアマネージャーからの視点～	アセスメントシートについて知る	中核地域生活支援センター さんネット コーディネーター 泉 洋治 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~14:00	リスクマネジメント	介護の視点からリスクマネジメントを学ぶ	社会福祉法人 六親会 理事長 湯川 智美 氏	
		14:10~16:10	身体拘束廃止に向けた専門的理解と 実践紹介	身体拘束をなくす取り組みを、実践例をとおして 深める		
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 7 年 12 月 18 日	9:40~ 9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~12:00	身体拘束がもたらす弊害 ～リハビリテーションの視点から～	リハビリテーションの視点から身体拘束廃止に ついての専門的理解を深める	千葉県千葉リハビリテーション センター 地域支援センター長 田中 康之 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~14:30	チームアプローチとリーダーシップ	介護を行うためのチームのあり方、リーダーの役 割について考える	あざみ野ヒルトップ 代表 松下 明美 氏	
		14:40~16:10	事例実践検討・演習	事例をとおして、身体拘束廃止に向けた組み 組みを学ぶ		
16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

専門課程 研修プログラム（第3次）

[研修会場]

①2/3(火) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港4-3) 会場:407号室

②2/18(水) ホテルポートプラザちば(千葉市中央区千葉港8-5) 会場:2Fルビー

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 8 年 2 月 3 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	知る手段としてのアセスメント ～ケアマネージャーからの視点～	アセスメントシートについて知る	中核地域生活支援センター さんネット コーディネーター 泉 洋治 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~14:00	リスクマネジメント	介護の視点からリスクマネジメントを学ぶ	社会福祉法人 六親会 理事長 湯川 智美 氏	
		14:10~16:10	身体拘束廃止に向けた専門的理解と 実践紹介	身体拘束をなくす取り組みを、実践例をとおして 深める		
		16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 8 年 2 月 18 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~12:00	身体拘束がもたらす弊害 ～リハビリテーションの視点から～	リハビリテーションの視点から身体拘束廃止に ついての専門的理解を深める	千葉県千葉リハビリテーション センター 地域支援センター長 田中 康之 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~14:30	チームアプローチとリーダーシップ	介護を行うためのチームのあり方、リーダーの役 割について考える	あざみ野ヒルトップ 代表 松下 明美 氏	
		14:40~16:10	事例実践検討・演習	事例をとおして、身体拘束廃止に向けた組み 組みを学ぶ		
16:15~16:30	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

指導者養成課程 研修プログラム（第1次）

[研修会場]

①11/26(水) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:207 号室

②11/28(金) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:403 号室

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令 和 7 年 11 月 26 日	9:30~9:50	(受 付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	高齢者権利擁護及び虐待防止の基礎 (講義)		特養 プレーゲ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:30 (途中随時休憩を含む)	事例検討① 研修の進め方	事例1:利用者の尊厳を軽視した接遇 事例2:利用者の要望への不誠実な対応 事例3:利用者の行動の制限	特養 プレーゲ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
			事例検討② グループ討議	議題1:施設内におけるカメラ設置について 議題2:感染症時の居室の隔離について	特養 プレーゲ船橋 生活福祉課長 太田 理人 氏	
		16:30~16:45	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令 和 7 年 11 月 28 日	9:40~9:55	(受 付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~12:00	ハラスメントについて (講義)		特養 プレーゲ船橋 生活福祉課長 太田 理人 氏	
		12:00~13:00	(昼 食・休 憩)			
		13:00~16:15 (途中随時休憩を含む)	事例検討① ハラスメント対策	事例1:パワーハラスメント 事例2:セクシャルハラスメント 事例3:マタニティハラスメント 事例4:利用者からのハラスメント 事例5:利用者の家族からのハラスメント	特養 プレーゲ本塾 施設長 蓮実 篤祐 氏	
			事例検討② グループ討議	議題1:カスタマーハラスメントについて	特養 プレーゲ船橋 生活福祉課長 太田 理人 氏	
		16:15~16:30	2日間のまとめ (総括)		蓮実 篤祐 氏	
16:30~16:45	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

指導者養成課程 研修プログラム (第2次)

[研修会場]

①2/17(火) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:407号室

②2/20(金) 千葉県経営者会館(千葉市中央区千葉港 4-3) 会場:407号室

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先:千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

		日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
1 日 目	令和 8 年 2 月 17 日	9:30~9:50	(受付)			
		9:50~10:00	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員	
		10:00~12:00	高齢者権利擁護及び虐待防止の基礎 (講義)		特養 プレーゲ本埜 施設長 蓮実 篤祐 氏	
		12:00~13:00	(昼食・休憩)			
		13:00~16:30 (途中随時休憩を含む)	事例検討① 研修の進め方 事例検討② グループ討議	事例1:利用者の尊厳を軽視した接遇 事例2:利用者の要望への不誠実な対応 事例3:利用者の行動の制限	特養 プレーゲ本埜 施設長 蓮実 篤祐 氏	
				議題1:施設内におけるカメラ設置について 議題2:感染症時の居室の隔離について	特養 プレーゲ船橋 生活福祉課長 太田 理人 氏	
		16:30~16:45	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員	
2 日 目	令和 8 年 2 月 20 日	9:40~9:55	(受付)			
		9:55~10:00	オリエンテーション	1日の流れ、必要事項の説明	研修委員	
		10:00~12:00	ハラスメントについて(講義)		特養 プレーゲ船橋 生活福祉課長 太田 理人 氏	
		12:00~13:00	(昼食・休憩)			
		13:00~16:15 (途中随時休憩を含む)	事例検討① ハラスメント対策 事例検討② グループ討議	事例1:パワーハラスメント 事例2:セクシャルハラスメント 事例3:マタニティハラスメント 事例4:利用者からのハラスメント 事例5:利用者の家族からのハラスメント	特養 プレーゲ本埜 施設長 蓮実 篤祐 氏	
				議題1:カスタマーハラスメントについて	特養 プレーゲ船橋 生活福祉課長 太田 理人 氏	
		16:15~16:30	2日間のまとめ(総括)		蓮実 篤祐 氏	
16:30~16:45	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員			

管理者課程 研修プログラム（第1次）

【研修会場】

千葉県経営者会館（千葉市中央区千葉港4-3）

会場：407号室

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先：千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
令和7年11月13日(木)	10:30~11:00	(受付)		
	11:00~11:10	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員
	11:10~12:00	行政説明		千葉県職員
	12:00~13:00	(昼食・休憩)		
	13:00~16:00	管理職としての高齢者権利擁護	権利擁護、身体拘束廃止に向けた管理職の意識改革と施設で行うべきこと、制度作りを学ぶ	社会福祉法人 六親会 理事長 湯川 智美 氏
	16:00~16:20	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員

管理者課程 研修プログラム（第2次）

【研修会場】

千葉県経営者会館（千葉市中央区千葉港4-3）

会場：407号室

※ 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※ 受講者の昼食は、各自でご用意ください。

※ 緊急時の連絡先：千葉県高齢者福祉施設協会 TEL043-244-6151

日 時	単 元 名	研修のねらい・内容	講 師・担当者	備考
令和7年12月19日（金）	10:30~11:00	（受 付）		
	11:00~11:10	オリエンテーション	研修受講時の留意点 研修の目的、1日の流れを説明	研修委員
	11:10~12:00	行政説明		千葉県職員
	12:00~13:00	（昼 食・休 憩）		
	13:00~16:00	管理職としての高齢者権利擁護	権利擁護、身体拘束廃止に向けた管理職の意識改革と施設で行うべきこと、制度作りを学ぶ	社会福祉法人 六親会 理事長 湯川 智美 氏
	16:00~16:20	1日の振り返り	1日の学習を振り返る	研修委員